

29年ぶりに金沢の地で開催、

ようこそ！

みまっし！石川

【発行元】

石川県
精神保健福祉士会石川大会
facebook ページ
大会公式サイト

石川大会

魂の再生

ソーシャルワーク実践

『魂』の再生に向けて



全国大会・学術集会会長

岩尾 貢

29年ぶりの金沢での大会開催となります。全国からの参加者の皆さん、心より歓迎します。今年大会の参加者は1,050名を超え、ボランティアを含めると1,300名の参加があり20回金沢大会の参加者300名と比較しますと隔世の感があります。多くの方の支援のもとに開かれた大会でもあります。心より感謝申し上げます。

今大会は、協会が、半世紀を振り返り、「当事者の自己決定を中心に据えた実践」、「関係性を軸にした自立支援へのかかわり」、さらに「地域社会における精神障害者の復権」という我々の「ソーシャルワークの実践『魂』」について再考し、未来の精神保健福祉士のあるべき姿として、誰のために何を重視する専門職かを問い直す機会となればと企画されました。大会を通して多くの成果を期待しています。

プレ企画

豪華、6本立て

石川大会のプレ企画は、盛りだくさんの豪華6本立ての企画になっております。

きょうの 見どころ 聴きどころ

家族支援に、制度の改正、成年後見制度に権利擁護、そして、ワーカーとしての成長や初心に立ち返り専門性を見つめなおすこと、どれも日々の業務の中で悩み、向き合い、見つめなおすことのできるテーマになっています。講師陣も数々の実践をされた方ばかり。どのプレ企画も聴きどころ満載です。

さて、そんな中でも石川県精神保健福祉士会では、今年5月の総会後の研修で、プレ企画

画6（見つめよう！専門性、初心に立ち返って企画すること）をプレ企画として行いました。勝手に感じたことを書きますと（ちよつとネタバレします）、練習の中でビデオが流れます。

認知症のグループホームに入所されたある方の対応に悩む職員が、この方の生き方や人生全体を理解し支援すること、穏やかな表情で過ごされるようになるプロセスは、まさに衝撃でした。

これは一例ですが、プレ企画に参加すると、大切にすべきことは何かをもう一度見つめ直せるかもしれませんよ。

石川大会☆運営委員会の気になる?お知らせ!

鼎談が本になりました!! (本日発売!!)

昨年12月8日、石川県では全国大会に先立ち、大会テーマである「ソーシャルワーク実践『魂』の再生」について討論会形式の研修会（鼎談）を開催し、講師に柏木昭名誉会長・荒田寛相談役・岩尾貢大会長、コーディネーターに佐々木敏明氏（聖隷クリストファー大学教授）をお招きしました。



鼎談の様子をまとめた1冊の本。本日発売（石川限定）。

この鼎談の記録が1冊の本になりました。受付にて1冊600円で販売しております。ぜひお買い求めください。

新聞（朝刊）を配布します!!

今大会では14日・15日に大会新聞を配布します。大会の様子や石川にゆかりのあることが書かれているよ！お楽しみに！



【今すぐ使える金沢弁講座】「～まっし」＝「～しなさい」「～したら」

例えば・・・「たあ～んと、ごっつお食べてくまっし！」
→「たくさん、ご馳走を食べていってね！」
「しましまに、しまっしま！」
→「しま模様、しなさいよ！」



観光スポットのご紹介

いってきまっしね～

☆兼六園



金沢といえば、兼六園。日本三大名園のひとつです。会場からも近いので、ぜひ一度足を運んでみては、いかがかでしょう。

この季節は、ツツジがとてもきれいです。

☆金沢21世紀美術館

「世界の現在（いま）とともに生きる美術館」がコンセプトの美術館。有名な『スイミング・プール』は一見の価値ありです！

☆金沢城公園

加賀百万石のお殿様、前田利家公のゆかりの城跡。

石垣や石川門が有名です。



☆しいのき迎賓館

旧石川県庁をリニューアルした建物で、観光案内、石川の工芸品の販売、レストラン・カフェなどがありますよ。